

時の人

全共闘代表に決定した

福田 直人

○：全学共闘会議（全共闘）の代表である。議長ではない。事務的、対外的理由から設置された。自然派的な、つまりノンセクト運動をどういう方向に領導していくか、ということが全共闘に問われていることを力説する。例えは二七〇年闘争において

「パリ・イン」して二週間は、あまり緊張感がない。客観的情勢によって左派が強くなってきた」という。

○：左派が強くなった「反安保」など客観的情勢の他に、当の福田中執副委員長本人が昨年の二一・二二で、西川敏雄率にブルジョア等間に対し、九安田城での主幹など、中興が「しどろもどろ」な感じがする。手薄だったとしても、然つながら、この共通の課題をもつことに

○：生田——大学に対する憎悪みたいなものがみなぎっている。和泉——三地区では最も弱体であるが、未知を感じさせる。本校——就職を控えて聞かっている諸君には筋金入りが多い。これが氏の三期区全共闘評である。向い合っていると、緊張感を感じるが、だが緊張はやはり闘士であった。

ノンセクト運動を領導

にブルジョア等間に対し、九安田城での主幹など、中興が「しどろもどろ」な感じがする。手薄だったとしても、然つながら、この共通の課題をもつことに

○：生田——大学に対する憎悪みたいなものがみなぎっている。和泉——三地区では最も弱体であるが、未知を感じさせる。本校——就職を控えて聞かっている諸君には筋金入りが多い。これが氏の三期区全共闘評である。向い合っていると、緊張感を感じるが、だが緊張はやはり闘士であった。



「パリ・イン」して二週間は、あまり緊張感がない。客観的情勢によって左派が強くなってきた」という。

○：左派が強くなった「反安保」など客観的情勢の他に、当の福田中執副委員長本人が昨年の二一・二二で、西川敏雄率にブルジョア等間に対し、九安田城での主幹など、中興が「しどろもどろ」な感じがする。手薄だったとしても、然つながら、この共通の課題をもつことに

○：生田——大学に対する憎悪みたいなものがみなぎっている。和泉——三地区では最も弱体であるが、未知を感じさせる。本校——就職を控えて聞かっている諸君には筋金入りが多い。これが氏の三期区全共闘評である。向い合っていると、緊張感を感じるが、だが緊張はやはり闘士であった。

終焉四年・岡山県採山高出身 (山口茂)